

# 2

## 主催研修

研究調査活動の成果を広く社会に提供するため、また、全国各地で観光関連の行政や事業に携わっていらっしゃる方たちに今後の活動のヒントとしていただくため、シンポジウムやセミナーを開催しています。

# えっ! 海外旅行がカッコ悪い!?

## ～今時の“ガールズ”意識とは

開催概要 ■日時：2010年7月23日(金) 13:30～17:25  
■場所：経団連会館 2F 国際会議場(東京・大手町)

■担当者：小林 英俊、黒須 宏志、久保田 美穂子、岡田 美奈子

参加者数 147人

観光業界、各国政府観光局、自治体の観光担当者などを対象として、毎年夏に開催。2010年度は、第1部で2009～10年の海外旅行市場動向を分析し、今後の動きを予測。第2部、第3部は、「若者の海外旅行離れ」を今までにない視点から取り上げ、その原因を、雇用や収入などの社会・経済的な側面にとらわれず、若者の行動や価値観を深く知ることから実践的なヒントを探った。

### ◆プログラム

#### 第1部

##### 「トレンドの転換点となるか、2010年!？」 —最新データから次なる成長ステージを予測する—

黒須 宏志 (財)日本交通公社 主任研究員)

2009年の海外旅行市場は、世界的な景気後退と新型インフルエンザ発生という最悪の状況であったにもかかわらず、観光性マーケットの一部で需要の好転が起きた。急激な円高と燃油サーチャージの事実上の消失などに加え、ここしばらく海外から足が遠のいていた“休眠状態の旅行者層”に動きが出たことが特徴と見られ、この流れから今後の市場動向を予測。

#### 第2部

##### 「世代論から見てきた“バブル後世代”の特徴」

ゲスト講師：松田 久一氏 (株)ジェイ・エム・アール生活総合研究所 代表取締役)  
聞き手：小林 英俊 (財)日本交通公社 常務理事)

日本人の消費行動を7つの世代論から分析する松田氏は、学童期にバブル崩壊を経験した20代後半を「バブル後世代」と名付け、その特徴を“嫌消費”と呼ぶ。嫌消費とは、収入に見合った支出をしないこと。彼らは、景気が回復しても支出を増やさない、今までのアプローチでは難しい消費者で、「車」「家電」「海外旅行」の“3K”嫌い。

しかし一方、特定の商品カテゴリーには強い関心を示し実際に購入していることから、彼らが大切にしている日常と深くかかわる「フュージョン」消費など、解決策につながるヒントを聞いた。

#### 第3部

##### 「ガールズマーケットの刺激策、教えます」

ゲスト講師：永谷 亜矢子氏 (株)F1メディア 代表取締役社長 兼 東京ガールズコレクション実行委員会チーフプロデューサー)  
聞き手：小林 英俊 (財)日本交通公社 常務理事)

「フュージョン消費」の成功例といえる「東京ガールズコレクション (TGC)」。最新ファッションの人気モデルと話題のタレントやアーティストが集結するTGCには、毎回全国から延べ2万人以上が集まる。成功の秘訣の一つは「本当にこれを買っていいのか、失敗しないか」と不安な今の若い世代に向けた、消費者目線に徹した企画力と販売促進力。景気低迷にも動じることなくTGCに集まるF1層女性の実態と心理、また当財団との共同「ガールズマーケット旅行意識調査」結果から、具体的なヒントを探った。



2010年10月、第2部、第3部の内容採録に加え、独自の研究成果と「ガールズマーケット旅行意識調査」結果を収録した冊子を発行 (112ページ参照)

# “心が動く”ヒットの方程式に学ぶ ～ソーシャルメディアに声を聴く

開催概要 ■日時：2011年7月21日（木）13:30～17:10

■担当者：小林 英俊、黒須 宏志、久保田 美穂子、吉澤 清良、

■場所：経団連会館 2F 国際会議場（東京・大手町）

岡田 美奈子

参加者数 131人

観光業界、各国政府観光局、自治体の観光担当者などを対象として、毎年夏に開催。2011年度は、第1部で2010～11年の海外旅行市場の最新データ分析と併せ、東日本大震災後の需要回復の見方について独自の分析結果を発表した。

第2部は、存在感高まるソーシャルメディアの特性を学びながら、そこに見える消費者の心の動きとヒット現象が生まれる法則に迫った。

## ◆プログラム

### 第1部

#### 「どうなる震災後の海外旅行マーケット」

黒須 宏志（財団法人日本交通公社 主任研究員）

東日本大震災後の海外旅行者数は震災から約1カ月で下げ止まり、ゴールデンウィークの旅行者数は日並びの良さからも前年を上回るなど、9.11、SARS、新型インフルエンザなどの危機直後に比べ、減少幅は小さかった。一方、懸念材料として、燃油サーチャージの上昇やシニア層の回復遅れなどがあり、震災を機に一層進んだ可能性のあるオンライン予約シフトの動きも注目される。

震災前後の詳細データ分析と、震災後の海外旅行マーケットの可能性について予測。

### 第2部

#### 「“心が動く”ヒットの方程式に学ぶ ～ソーシャルメディアに声を聴く」

ゲスト講師：吉田 就彦氏（㈱ヒットコンテンツ研究所 代表取締役社長）

新垣 久史氏（㈱ヒットコンテンツ研究所 マーケティング・アナリスト）

コーディネーター：小林 英俊（財団法人日本交通公社 常務理事）

久保田 美穂子（財団法人日本交通公社 主任研究員）

これまでは「経験」や「勘」のマーケティングに頼らざるを得なかった“クチコミ”や“街の噂”のメカニズムが、ブログやSNSなどソーシャルメディアの台頭により分析可能になってきた。

シンポジウムでは主に映画の事例を中心に、web上の話題の量と実際の人の動きや売り上げの関係を検証。また、従来のアンケート調査ではなかなか見えなかった深層心理についてもブログから読み解き、現代のヒット現象は間接コミュニケーションによって起きていること、そのための共鳴性、周辺話題性が欠かせないこと等、観光分野にも大いに応用できるヒントを紹介した。



2011年12月、第2部の内容の採録を当財団ホームページで公開

# ソーシャルネットワークが拓く旅行の新たな可能性 ～「位置ゲー」が仕掛ける“お出かけ”モチベーション

市場分析：旅行マーケット最新動向、どうなる2011年

開催概要 ■日時：2010年12月22日(水) 13:30～17:20  
■場所：経団連会館 2F 国際会議場(東京・大手町)

■担当者：小林 英俊、黒須 宏志、久保田 美穂子、岡田 美奈子  
参加者数 169人

観光業界、各国政府観光局、自治体の観光担当者などを対象として、毎年12月に開催。2010年度は、第1部で2010年の旅行市場を振り返り、2011年の市場の展望について発表。第2部は、急速に会員数を増やしている携帯エンターテインメント「コロニーな生活☆PLUS(略称コロプラ)」を事例に、新しい観光の芽吹きに迫った。

## ◆プログラム

### 第1部

#### 「旅行マーケットの最新動向と2011年の展望」

黒須 宏志(財日本交通公社 主任研究員)

新型インフルエンザ、世界同時不況からのリバウンドなどでにわかな活況を呈した2010年の旅行マーケット。航空業界や予約・流通システムの変化を軸に業界地図も急速に塗り変わろうとしている。最新の調査結果から2011年の旅行マーケットを予測。

### 第2部

#### 「ソーシャルネットワークが拓く旅行の新たな可能性 ～「位置ゲー」が仕掛ける“お出かけ”モチベーション」

ゲスト講師：富塚 優氏(株)リクルート 執行役員/旅行カンパニー 飲食情報カンパニー  
カンパニー長(株)ゆこゆこ 代表取締役社長  
千葉 功太郎氏(株)コロプラ 取締役副社長  
コーディネーター：小林 英俊(財日本交通公社 常務理事)  
久保田 美穂子(財日本交通公社 主任研究員)

携帯電話の「位置情報」を利用する「コロプラ」をきっかけに実際の旅行が生まれている。バーチャルなゲームのなかからリアルな移動が生まれるモチベーションを探ると、ゲームの作り手たちがいかに人間の深い欲求を研究し、刺激しているかが見えてきた。また、多くの若者は既にバーチャルとリアルの間を当たり前のように行き来しており、バーチャルと融合したリアルな移動(旅行)という新しい楽しみ方を始めていたことも分かった。

二人のゲストをはじめ、若者に人気のコンテンツ制作現場や若者の意識と行動に詳しい有識者らが口を揃えて「若者も本当は出かけたがっている。要はきっかけ」と力説し、「出かけたたい!」という気持ちは人間の根源的な欲求であることも改めて認識された。



2011年6月、第2部の内容採録に加え、独自の研究成果を収録した冊子を発行(114ページ参照)

# 今、求められる“ビジット・デザインング” ～訪れるに値する価値づくりを学ぶ～

市場分析：旅行マーケット最新動向と2012年の展望

開催概要 ■日時：2011年12月19日（月）13:30～17:20

■場所：経団連会館 2F 国際会議場（東京・大手町）

■担当者：小林 英俊、黒須 宏志、久保田 美穂子、吉澤 清良、

岡田 美奈子

参加者数 151人

観光業界、各国政府観光局、自治体の観光担当者などを対象として、毎年12月に開催。2011年度は、第1部で2011年の旅行市場を振り返り、2012年の市場の展望について発表。第2部は、国内旅行、海外旅行、インバウンドの各分野で話題となっている企業経営者のユニークな着眼点や創造性に着目し、時代認識とともに議論した。

## ◆プログラム

### 第1部

#### 「旅行マーケットの最新動向と2012年の展望」

黒須 宏志（㈱日本交通公社 主任研究員）

東日本大震災は旅行市場の量的側面より質の面に大きな変化をもたらした。オンラインシフトや間際化、またリーマンショック後に始まった若年層市場における反転上昇の動きは、震災後一層鮮明になった。今後、ビジネス環境の変化の加速が予想される航空関連の要素も検討しながら、2012年以降の市場について中長期的視点を交えて予測。

### 第2部

#### 「今、求められる“ビジット・デザインング” ～訪れるに値する価値づくりを学ぶ～」

ゲスト講師：菊間 潤吾氏（㈱ワールド航空サービス 代表取締役社長）

谷口 正和氏（㈱ジャパンライフデザインシステムズ 代表取締役社長）

コーディネーター：小林 英俊（㈱日本交通公社 常務理事）

久保田 美穂子（㈱日本交通公社 主任研究員）

新しいビジットデザインング発想を説く谷口氏と新機軸の旅行商品を次々世に送り出してきた菊間氏を講師に招き、更にいくつかの取材事例を交えて、各実践例から見えてくる時代の読み方、価値創造の知恵や発想の方法について議論を展開。

“ビジット・デザインング”とは、観光に関わる一人ひとりが、人生という“時間”にもっともっと敏感になり、旅を通しての素敵な時間の過ごし方や生き方を提示していくことで、訪れるに値する価値を創り出そうというもの。外部の観光資源に依存するだけでなく、自ら価値を創り出し、その表現方法をトータルで考えるビジットデザインング発想が求められている。



2012年6月、第2部の内容採録に加え、独自の研究成果を収録した冊子を発行

# 海外旅行マーケットセミナーin大阪

「海外旅行動向シンポジウム」の第1部で発表してきた日本人の海外旅行マーケット動向に関して、東京以外での開催要望が高かったことを受け、2010年度より新規開設したセミナー。西日本の旅行関連企業を主たる対象として開催し、海外旅行マーケットに関する研究の深化と、その成果発表という二つの側面を持ち合わせたものになっている。

## 第1回海外旅行マーケットセミナーin大阪

### トレンドの転換点となるか、2010年の海外旅行市場 —最新データから次なる成長ステージを予測する

#### 開催概要

- 日時：2010年7月30日（金）14:00～16:00
- 場所：難波市民学習センター 講堂
- 担当者：黒須宏志、岡田美奈子

参加者数 65人

#### ◆プログラム

海外旅行マーケット動向プレゼンテーション  
黒須 宏志（財）日本交通公社 主任研究員



## 第2回海外旅行マーケットセミナーin大阪

### オンラインシフトは旅行市場をどう変えるか —同時発表：西日本における海外旅行マーケット最新動向

#### 開催概要

- 日時：2011年8月31日（水）14:00～17:00
- 場所：難波市民学習センター 講堂
- 担当者：黒須宏志、渡邊智彦、岡田美奈子

参加者数 63人

#### ◆プログラム

西日本における海外旅行マーケット最新動向  
黒須 宏志（財）日本交通公社 主任研究員  
オンラインシフトは旅行市場をどう変えるか  
牛場 春夫氏（フォーカスライト・ジャパン 日本代表）





## — 観光交流で地域に賑わいを! —

開催概要 ■日時：2010年6月17日（木）～6月18日（金）

■担当者：小林 英俊、久保田 美穂子、岡田 美奈子

■場所：第一鉄鋼ビル B1 会議室

参加者数 36人

自治体の新任観光担当者を想定対象者とし、観光担当者として必要な知識と考え方を総合的に習得してもらう講座として毎年6月に実施。現場をリードしてきた実践者による基調講演のほか、当財団の研究員が、日ごろの研究調査活動を通じて得た最新情報と知見を交えて講師を務める。

### ◆プログラム

#### 6月17日

##### 講義1 成熟社会の観光の意味と可能性

講師：小林 英俊（財）日本交通公社 常務理事

##### 講義2 データから読む：旅行者の動きはどう変わっているか

講師：黒須 宏志（財）日本交通公社 主任研究員

##### 講義3 官民連携の地域ブランドづくり ～やきそばが地域を変えた

講師：渡辺 孝秀氏（静岡県富士宮市 総合調整室 兼 フードバレー推進室長）

意見交換会

#### 6月18日

##### 講義4 もう一度行きたい、口コミしたい観光地へ ～大事な顧客満足（CS）とロイヤリティ

講師：山田 雄一（財）日本交通公社 主任研究員

五木田 玲子（財）日本交通公社 研究員

##### 講義5 観光地再生 ～現在進行形の鳥羽市の取り組みに学ぶ

講師：吉澤 清良（財）日本交通公社 主任研究員

福永 香織（財）日本交通公社 研究員

##### 講義6 新たな時代に対応した地域体験型観光の推進方策

講師：大隅 一志（財）日本交通公社 主任研究員

##### 講義7 観光立国時代の地域インバウンド

講師：五十嵐 力氏（前JTB中国社長）

# — 動いて感じよう日本 信じよう観光の底力 —

開催概要 ■日時：2011年6月23日（木）～6月24日（金）  
■場所：東京文化会館 4F 中会議室

■担当者：小林 英俊、久保田 美穂子、吉澤 清良、岡田 美奈子

参加者数 36人

自治体の新任観光担当者を想定対象者とし、観光担当者として必要な知識と考え方を総合的に習得してもらう講座として毎年6月に実施。現場をリードしてきた実践者による基調講演のほか、当財団の研究員が、日ごろの研究調査活動を通じて得た最新情報と知見を交えて講師を務める。

## ◆プログラム

### 6月23日

#### 講義1 今、あらためて考える観光の“底力”

講師：小林 英俊（財日本交通公社 常務理事）

#### 講義2 地域が見つかる、地域の魅力と商品化 ～環白神の取り組みを事例に

講師：大隅 一志（財日本交通公社 主任研究員）

吉谷地 裕（財日本交通公社 研究員）

#### 講義3 企業経営と観光地経営は同じだ!? ～境港市観光協会の取り組みに学ぶ

講師：榎田 知身氏（鳥取県境港市観光協会 会長）

意見交換会

### 6月24日

#### 講義4 旅行マーケットの最新の動き ～大震災からの回復をどう考えるか

講師：黒須 宏志（財日本交通公社 主任研究員）

#### 講義5 個性を活かすインバウンド振興とは ～地域の取り組み最前線

講師：守屋 邦彦（財日本交通公社 主任研究員）

石黒 佑介（財日本交通公社 研究員）

#### 講義6 観光における広域連携の成功の秘訣と課題 ～観光圏各地の事例から

講師：吉澤 清良（財日本交通公社 主任研究員）

#### 講義7 “シマ/集落～島”の魅力を如何に発信するか ～奄美の観光と物産ネットワークの試み

講師：小池 利佳（財日本交通公社 研究員）



# — 街を活かす 街を楽しむ —

開催概要 ■日時：2010年11月25日(木)～11月26日(金)  
■場所：東京文化会館 4F 中会議室

■担当者：小林 英俊、久保田 美穂子、岡田 美奈子

参加者数 24人

自治体の観光担当者を想定対象者とし、「基礎講座」の続編としてさらに深く実践的な知識を身につけ、明確な地域の将来ビジョンを持って地域振興や観光振興を進める人材を育成する講座として2003年度から実施。各地で活躍する講師から、現場の実践事例に基づく具体的な進め方と、根底にある考え方を学ぶ。

## ◆プログラム

### 11月25日

#### 講義1 "楽しむ"気持ちの連鎖が人を呼ぶ

講師：小林 英俊 (財)日本交通公社 常務理事)

#### 講義2 時速10キロで感じるまち観光 ～自転車観光がまちを面白くする

講師：多賀 一雄氏 (有)京都サイクリングツアープロジェクト 代表取締役)

#### 講義3 市民協働のまちづくり型観光 ～“江戸優り”佐原の活力はどこから?

講師：椎名 喜予氏 (千葉県香取市 市民環境部市民活動推進課 課長)

#### 意見交換会

### 11月26日

#### 講義4 訪日旅行調査結果から見る外国人観光客の行動と志向

講師：久保田 美穂子 (財)日本交通公社 主任研究員)

#### 講義5 「きずなストーリー」から始まる地域の人づくり・元気づくり

講師：藤本 和弘氏 (三重県政策部理事・「美し国おこし・三重」実行委員会事務局長)

#### トピック 携帯位置情報が観光地の域内回遊を促す

講師：那須 俊宗氏 (マルティスーブ(株) 代表取締役)

#### 講義6 「国際観光都市 飛騨高山」の観光戦略

講師：片岡 吉則氏 (岐阜県高山市 商工観光部 参事)

平成22年度  
観光実践講座 講義録

## 街を活かす 街を楽しむ

目次  
001 「楽しむ」気持ちの連鎖が人を呼ぶ  
002 時速10キロで感じるまち観光  
～自転車観光がまちを面白くする  
003 市民協働のまちづくり型観光  
～“江戸優り”佐原の活力はどこから?  
004 訪日旅行調査結果から見る  
外国人観光客の行動と志向  
005 「きずなストーリー」から始まる  
地域の人づくり・元気づくり  
006 「国際観光都市 飛騨高山」の観光戦略  
007 携帯位置情報が観光地の域内回遊を促す  
008 市民協働のまちづくり  
～地域を元気にする



2011年3月、講義録を発行  
平成22年度観光基礎講座 基調講演も収録(104ページ参照)

# “つなぐ”“つながる”が生む 地域の新しい魅力

## ～高校生レストランのまち多気町に学ぶ、まちの宝の創造と磨き方、地域住民との協働～

開催概要 ■日時：2011年11月10日(木)～11月12日(土) ■担当者：小林 英俊、久保田 美穂子、吉澤 清良、岡田 美奈子  
■場所：三重県多気町 ふるさと交流館たき 三重県立相可高校ほか 参加者数 29人

「基礎講座」の続編として、さらに深く実践的な知識を身につけ、明確な地域の将来ビジョンを持って地域振興や観光振興を進める人材の育成講座。2011年度は、初めて東京を離れ、三重県多気町で実施。多気町では各セクターがつながることで“スパーク”が起き、その結果、創出された新しい“動き”や“仕組み”が観光的魅力になっている。なぜ多気町では新しい魅力が次々と生み出され続けているのか、その背景や経緯を深く理解するため、現場開催を試みた。

### ◆プログラム

#### 11月10日

##### 講義1 講座のねらい/地域主体の観光の時代 ～“つなぐ”“つながる”が生む新しい魅力

講師：小林 英俊（財日本交通公社 常務理事）

##### 講義2 視点を変えればまちには宝がいっぱい ～出会いが生んだ「高校生レストラン」

講師：岸川 政之氏（三重県多気町 まちの宝創造特命監）

##### クロストーク スパークを生む新しいつながりが魅力を創る

###### セッション1：高校生レストラン、行列の理由

講師：三重県立相可高等学校 食物調理科 教諭 村林 新吾氏

###### セッション2：住民、企業、学校、行政がつながる独自のまちづくり

- ◎パネリスト：久保 行央氏（多気町長）  
谷村 朗氏（たき環境くらぶ・竹遊号 代表）  
松浦 信男氏（多気工業会 会長/万協製菓(株)代表取締役社長）  
村林 新吾氏（相可高校教諭・専門調理師）

◎コーディネーター：久保田 美穂子（財日本交通公社 主任研究員）

###### セッション3：次々生まれる高校生発プロジェクト「まごジェル」が全国発売へ

特別講師：上野 哲八氏（三重県立相可高等学校 校長）  
三重県立相可高等学校 生産経済科 NPO「植える美ing」メンバー

###### 意見交換会 「まごの店」（高校生レストラン）にて



2012年3月、講義録を発行  
平成23年度観光基礎講座 基調講演も収録（104ページ参照）

#### 11月11日

##### 講義3 “ゆさぶり”講演 みんなの汗と知恵が生み出すまちの魅力

講師：若松 進一氏（観光カリスマ、人間牧場主・年輪塾塾長）

##### 講義4 農村らしい魅力はトータルで伝え、残す

講師：北川 静子氏（農業法人（有）せいわの里 まめや 代表取締役）

##### みんなで深掘り長談義 ◎登壇者：若松 進一氏/岸川 政之氏/北川 静子氏/松浦 信男氏

◎コーディネーター：小林 英俊/久保田 美穂子

#### 11月12日

##### 視察 高校生レストラン「まごの店」での食事体験

五桂池ふるさと村内視察（「おばあちゃんの店」「せんぱいの店」等）